

1. 件 名：日本原子力発電株式会社敦賀発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年10月25日 13:30～16:05

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、和田専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ 課長他5名

5. 要 旨

日本原子力発電株式会社から、令和3年12月3日に予定されている同社敦賀発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)], [DO(実行)]に関する内容
- ・ 能力向上を促す実効性のある訓練シナリオとして考慮した事項

原子力規制庁から、COP（戦略シート）を見直していることから、当該COPを検証できるシナリオとなるよう検討すること、また、事業者防災訓練のピアレビューを受けた結果について、報告できるようにすることを伝えた。併せて、「令和3年度評価指標（実用発電用原子炉）」における「指標7. 現場実動訓練の実施」の位置付けを兼ねる現場実動訓練については、プラントに対する訓練はもとより原子力防災訓練であることを考慮した訓練テーマで実施するよう伝えた。

日本原子力発電株式会社から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があるとともに、「指標7. 現場実動訓練の実施」の位置付けを兼ねて行う現場実動訓練については、別途実施を検討している訓練テーマで評価頂きたいことから、後日説明すると回答があった。

また、今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本原子力発電株式会社の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

## 6. その他

配布資料：

- 資料 1 敦賀発電所原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5 週間前）時の確認事項
- 資料 2 2021 年度敦賀発電所原子力防災訓練シナリオにおける「能力向上を促すための要素」